

第3回亀有地域観光拠点施設地域検討会

次第

令和5年3月22日（水）午後6時30分
亀有地区センター ホール

1 開 会

2 挨拶

3 議 題

(1) これまでの振り返りについて

(2) 令和5年度の検討体制について

4 今後の予定

<配布資料>

【資料 1】 令和4年度地域検討会の振り返り

【資料 2】 令和5年度の検討体制について

【参考資料1】 亀有地域観光拠点施設基本設計概要

【参考資料2】 亀有地域観光拠点施設地域検討会委員名簿

令和4年度地域検討会の振り返り



今年度、地域の皆さまと取り組んだこと

- 住民説明会（4/28、5/10）：整備の基本的な考え方について説明
- ★第1回地域検討会（8/29）：施設整備への期待や設計案について意見交換
- ★第2回地域検討会（10/27）：設計進捗や地域回遊・地域連携について意見交換
- 住民説明会（1/30）：設計概要について説明



施設への期待や、施設やこち亀を活用して地域を盛り上げたいという思いを共有することができました

—皆さまからいただいたご意見の主なテーマ—

①
展示

②
まちへの回遊
まちとの連携

③
運営

④
その他
(周辺環境整備など)

①展示についてのご意見

ご意見抜粋

- ここにしかないワクワクするような施設
- 老若男女楽しめるような施設

—以下具体案—

- デジタルとアナログをうまく融合させた展示
- 記念品を実際に持ち帰れると良い
- こち亀に登場する幅広いネタをリニューアル含めて活用してほしい

- 展示だけではない
体験型の施設

- 定期的な更新を行うなど
何度も来たくなるような施設
- ファサードについても更新
できるよう工夫すると良い

こち亀や亀有らしい
誰もが楽しめる展示

体験性の高い展示

更新性の高い展示

今後

いただいたご意見を設計の考え方に取り入れました。
令和5年度以降の制作にも引き続き取り組んでいきます。



②まちへの回遊、まちとの連携についてのご意見

ご意見抜粋

- この施設だけでなく、北口を含め、**亀有全体を回れるように**してほしい
- 両津の行き先を告げるヒントを出して、**各商店へ誘導**する
- まちなかで写真を撮れる場所を増やすなど**回遊性向上のための環境整備**

【地域との連携構築】

- 地域と施設が連携するために**地域が自主的に運動する**必要がある
- プラットフォームを用意し**地域の方や観光客と作り上げていく**コンテンツ
- **地域イベントとの連携**

—以下具体案—

- 駅から施設まで**キャラクターを活用したサイン**があると良い
- マンガに出てくるような店を当時の風景などととも**に配置すると良い**

【地域理解の醸成】

- **地域が応援していることを最初からアピール**していきたい
- この施設をハブとして地域を活性化していくため**地元が後押しすべき**
- 先行事例の講演をしてもらっても良い

まち全体を回遊できる
「仕組み」づくり

地域連携の必要性

今後

回遊性の向上に関して、いただいたご意見を設計の考え方に取り入れました。回遊・連携の具体策については、令和5年度に管理運営計画を検討する中で、地域の皆さまと一緒に考えていければと思います。



③運営についてのご意見

ご意見抜粋

【インバウンド対応】

- 来館者への**多言語**対応
- インバウンド対策として、来館者への説明、発信方法など配慮が必要

【バリアフリー対応】

- 階段への昇降機設置
- 階段の傾きなど対応が必要
- **車いすの方や高齢者への配慮**

誰でも利用
しやすい施設

- グッズについての考え方は？
- 施設だけでなく、**商店会が柔軟にグッズ作成できる仕組み**
- **その店でしか扱わないグッズ**が重要

グッズ開発

- **若い世代へのアプローチ**として動画を活用すべき
- **事前PRを突拍子もないような形で、盛り上げてほしい**
- 両さんのファンクラブがあると良い

施設、地域を盛り上げる
広報・PR

今後

バリアフリー対応や多言語対応について、いただいたご意見を設計の考え方に取り入れました。グッズや広報・PRについては、令和5年度に管理運営計画を検討する中で、地域の皆さまと一緒に考えていければと思います。



④その他のご意見

ご意見抜粋

- 駐車場や観光バスの乗り降り
- 観光バスを含めた施設へのアクセスについて考える必要がある
- 歩行者の空間づくりを考える必要がある
- レンタサイクル

- 施設前面道路（一方通行）の問題
- 歩行者天国

【その他：地域説明会などでのご意見】

- ごみ問題への対策
- 整備用地前の混雑について対策してほしい
- 商店街の空き店舗などを活用して小さな地元密着の施設を作ってみても良いのではないかと思う。
- 地元の人、特に子どもたちが施設づくりに参加すべき。

利用者アクセスの向上

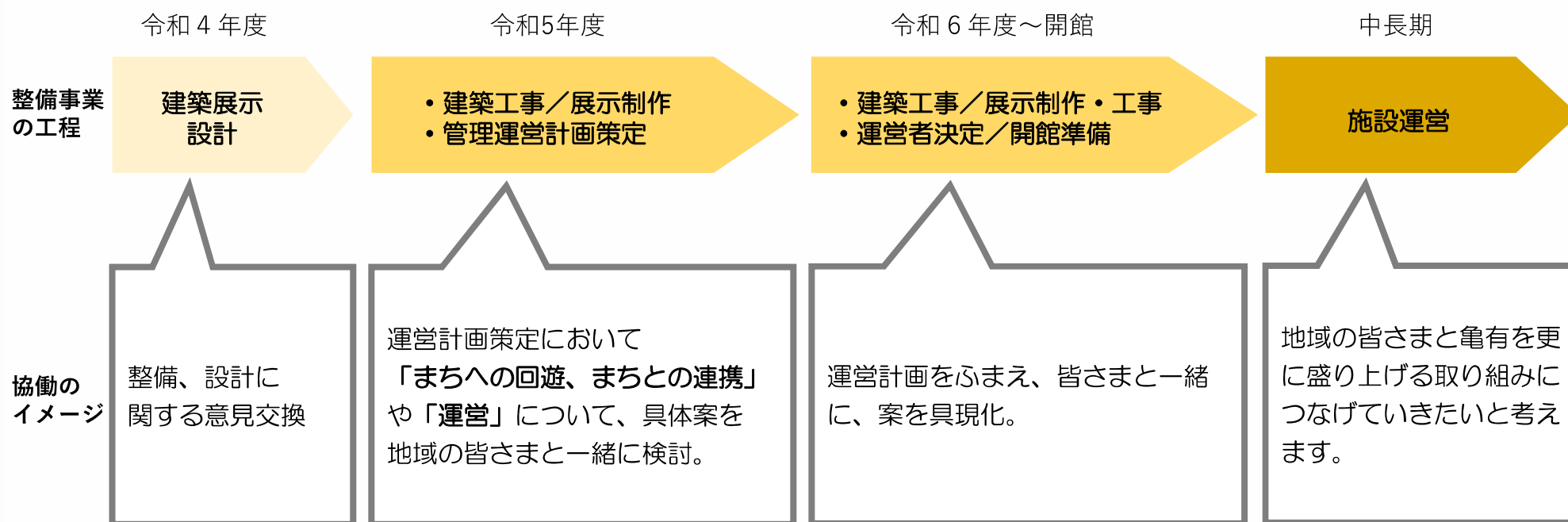
周辺環境の整備

今後

令和5年度に管理運営計画を検討する中で、短期的・中長期的に対応することを整理し、関係機関と調整しながら対応を検討していきます。



令和5年度からは、令和6年度の開館に向けて取り組むべき、「まちへの回遊、まちとの連携」や「運営（グッズ開発・PRなど）」について、皆さまと一緒に具体的に検討していきたいと考えます。





今年度共有した
「施設やこち亀を活用して、地域を盛り上げたい」
という思いの“具現化”に向けて、
施設整備の機会を活用して、
一緒に取り組んでいきませんか。

令和5年度の検討体制について



(1) 役割

ワーキンググループがとりまとめた事項に関して協議します。

(2) 委員構成

今年度と同様の委員構成とさせていただければと思います。

※参考

・町会 8名 ・商店街 7名 ・関係機関 5名 ・有識者 1名 ・区 1名

（1）役割

以下3つのテーマについて、具体的に検討を行います。

①地域回遊・連携

②グッズ開発

③広報・PR

（2）各テーマの目的

①地域回遊・連携

本施設を核とした地域回遊イベント及び既存の地域イベントとの連携、開館イベント等について検討を行い、検討会に提出する企画案を作成します。

②グッズ開発

具体的なグッズ案等について検討を行い、検討会に提出する企画案を作成します。

③広報・PR

開館前及び開館後のPR方法等について検討を行い、検討会に提出する企画案を作成します。

（3）委員構成

地域検討会委員の皆様にご参加いただくほか、幅広い視点から検討を行うため、区民から公募することとします。

なお、テーマごとの委員構成は以下のとおり想定しています。

町会 1名

商店街 1名

関係機関 1名

公募区民 2名

（4）委員選定方法

①町会・商店街・関係機関（検討会委員）

各団体より、テーマごとに最低1名の推薦をお願いします。

本資料の説明後、委員を決める時間を設けさせていただきます。

②公募区民

ア. 選定方法 : 事務局にて面接等の選考を行います。

イ. 公募対象 : 令和5年4月1日時現在で満12歳以上の葛飾区民

ウ. 公募人数 : テーマごとに2名ずつ（全6名）

4. 令和5年度スケジュール（案）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画策定	業者選定		策定（地域検討会・ワーキンググループの運営も含む）									
地域検討会	要領改正											
ワーキンググループ	地域検討会 推薦締切		委員決定	開催	随時開催 (3回程度)		開催			開催		
予算							↓ 予算要求		予算内示	↑		

亀有地域観光拠点施設 基本設計概要

葛飾区観光課

<建物概要>

[所在地] 東京都葛飾区亀有三丁目 32 番 17 号

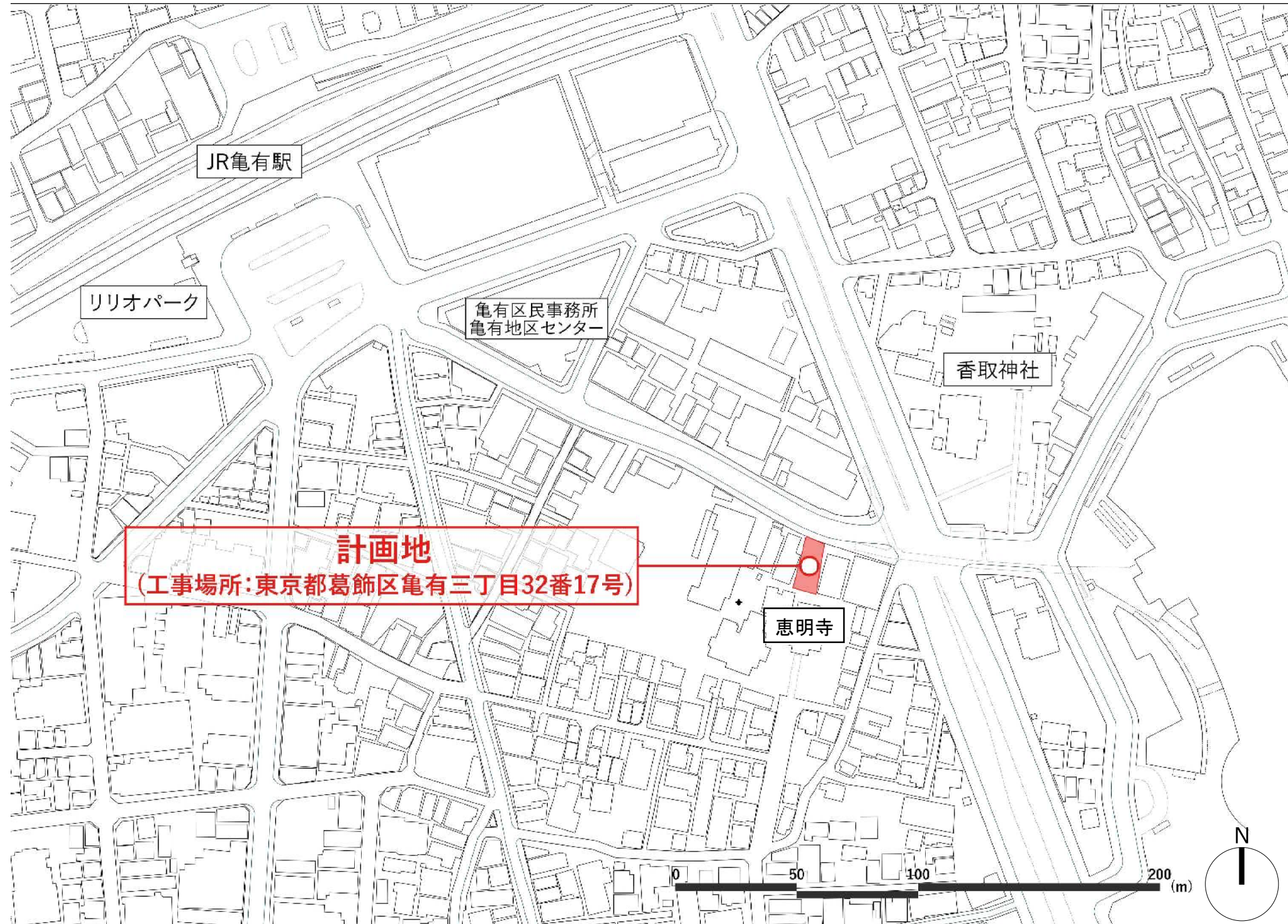
※案内図は 1 ページに記載

[構造] 鉄筋コンクリート+鉄骨造 5階建て

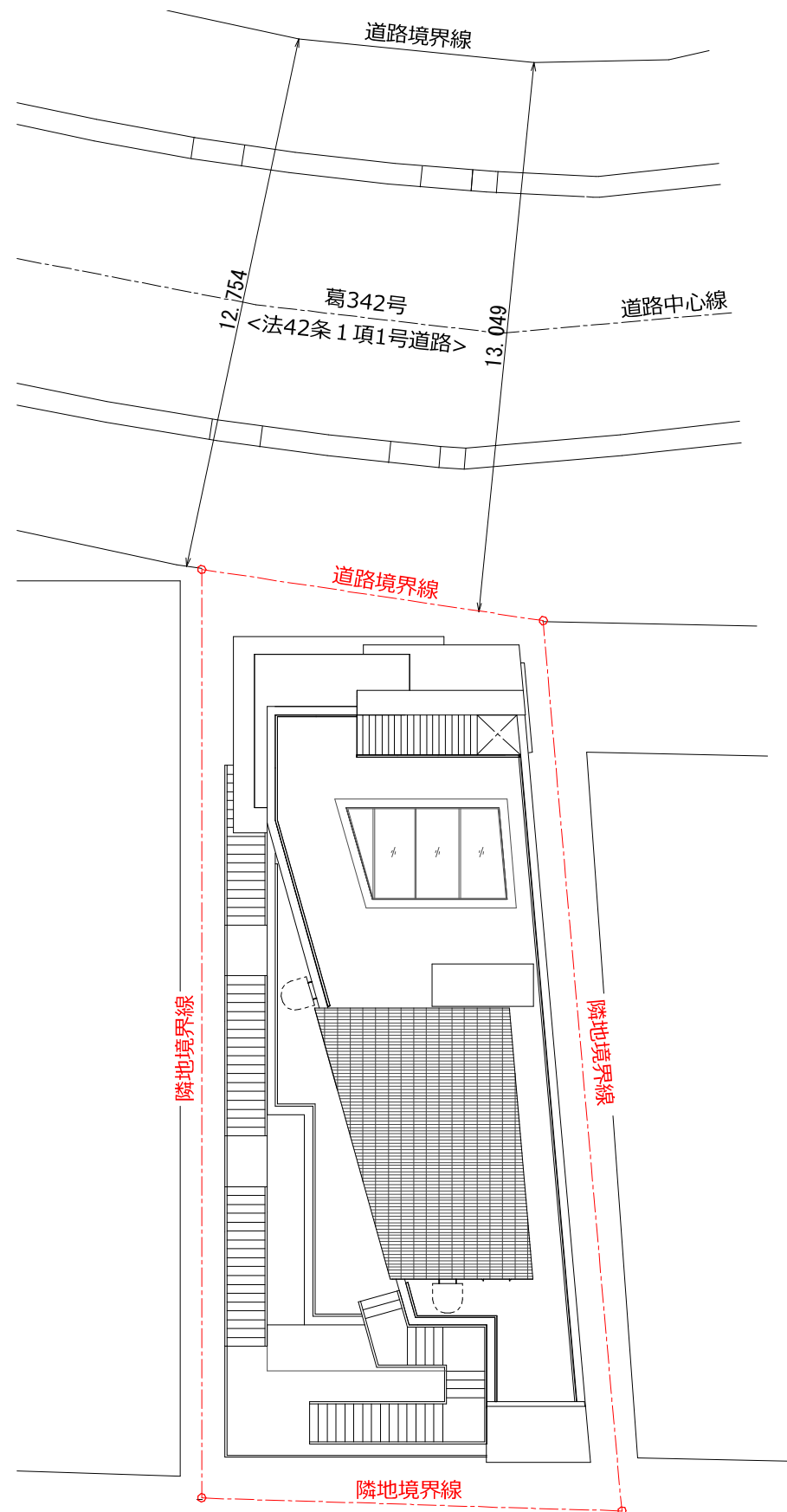
[延床面積] 540.60 m²

(参考) 諸室の構成

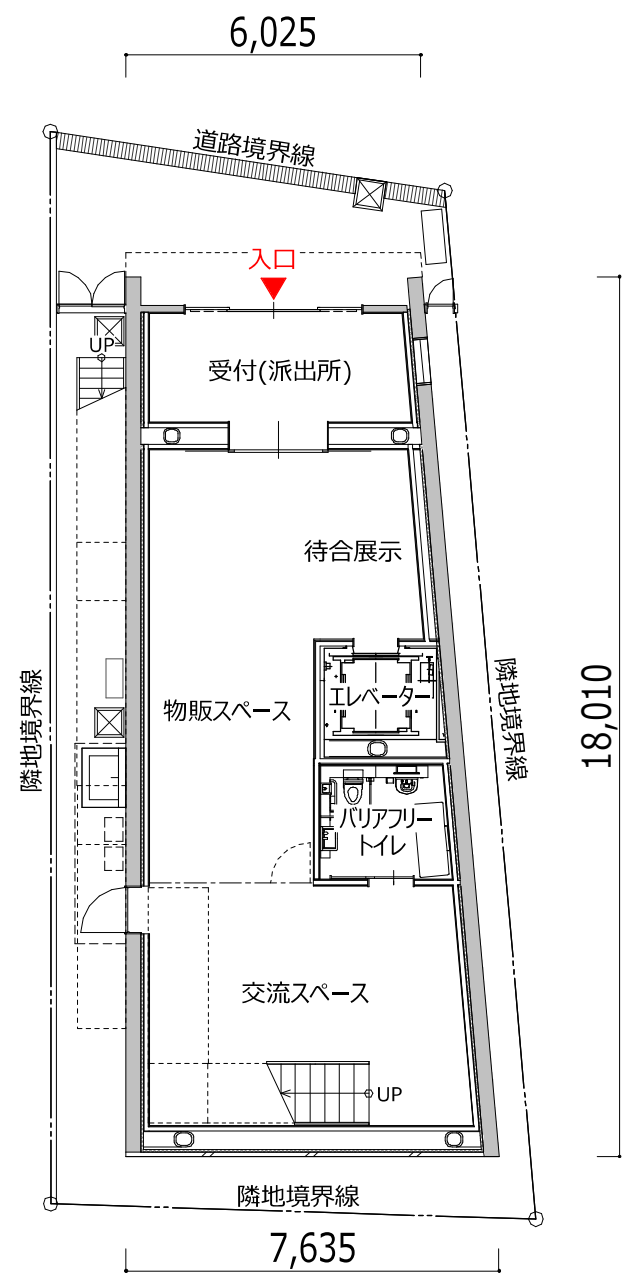
諸室等	面積 (m ²)	備考
展示	308.92	
事務室	21.09	
管理諸室	33.09	倉庫・更衣室等
共用部分	177.50	トイレ・エレベーター・階段等
延床面積	540.60	



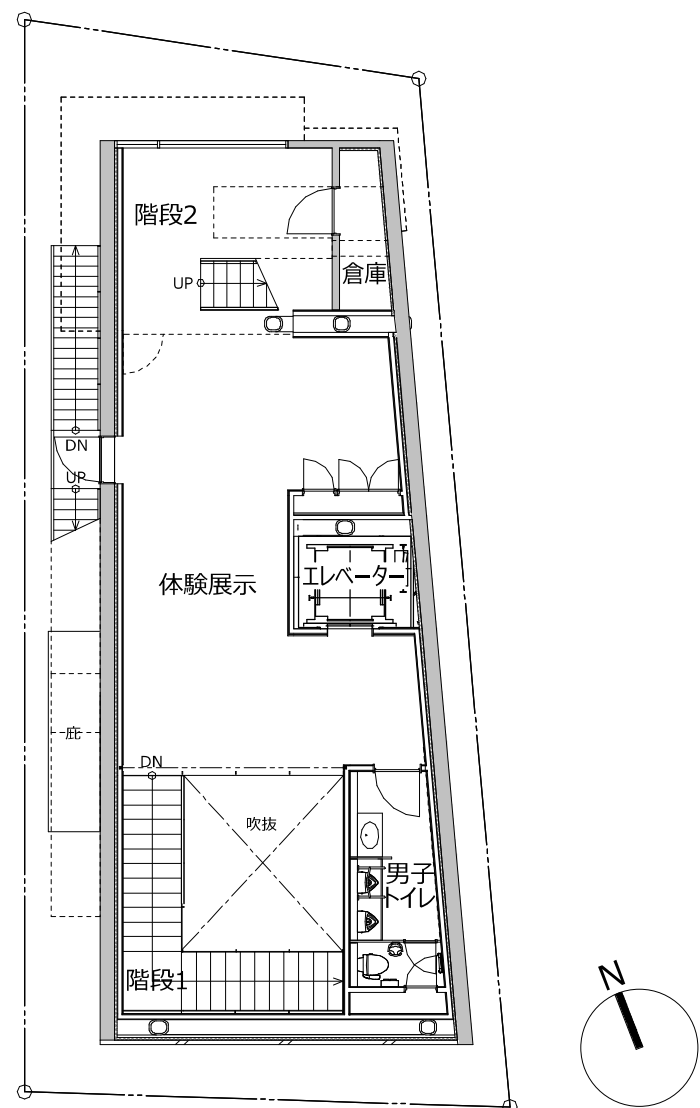
案内図



配置図



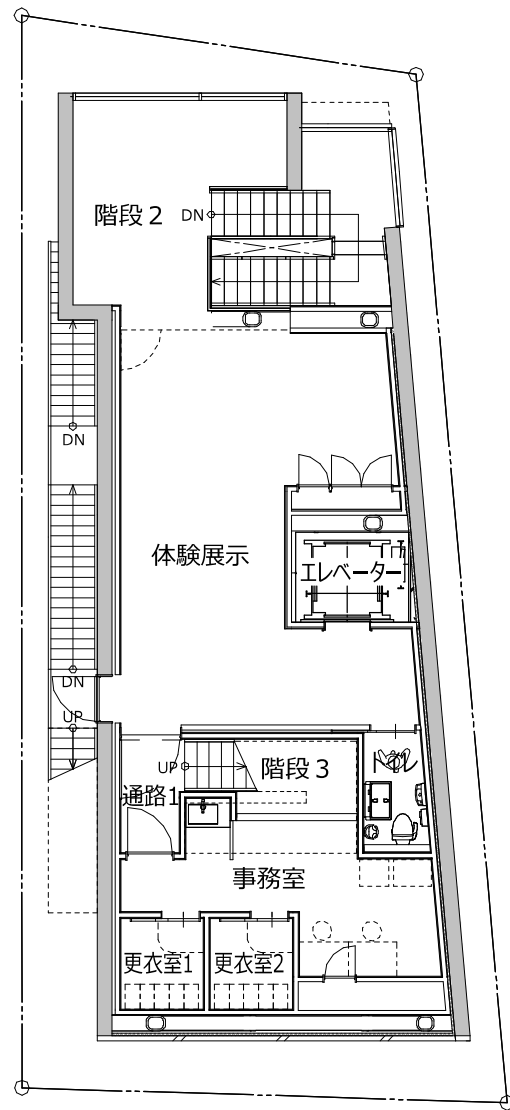
1階平面図



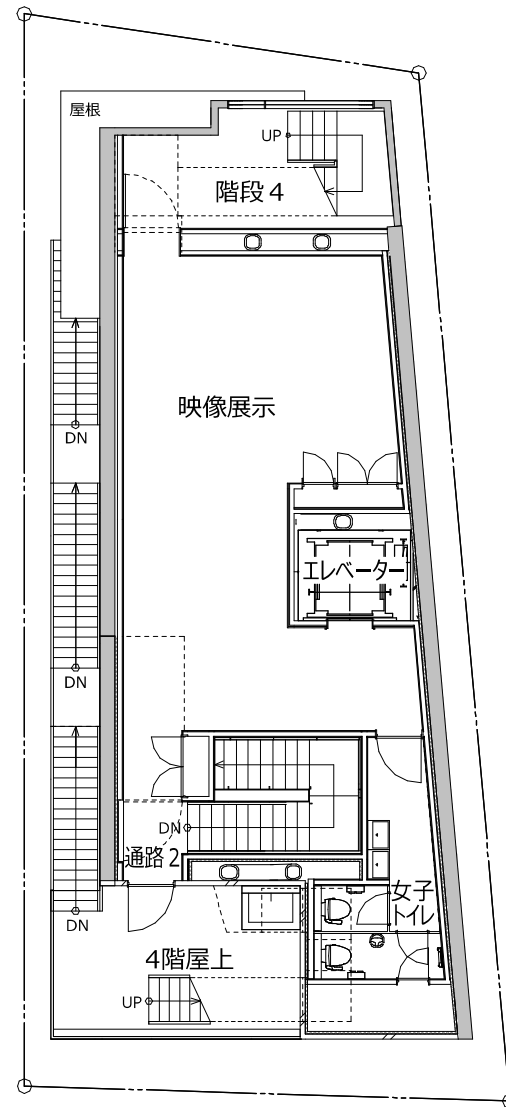
2階平面図

諸室の構成

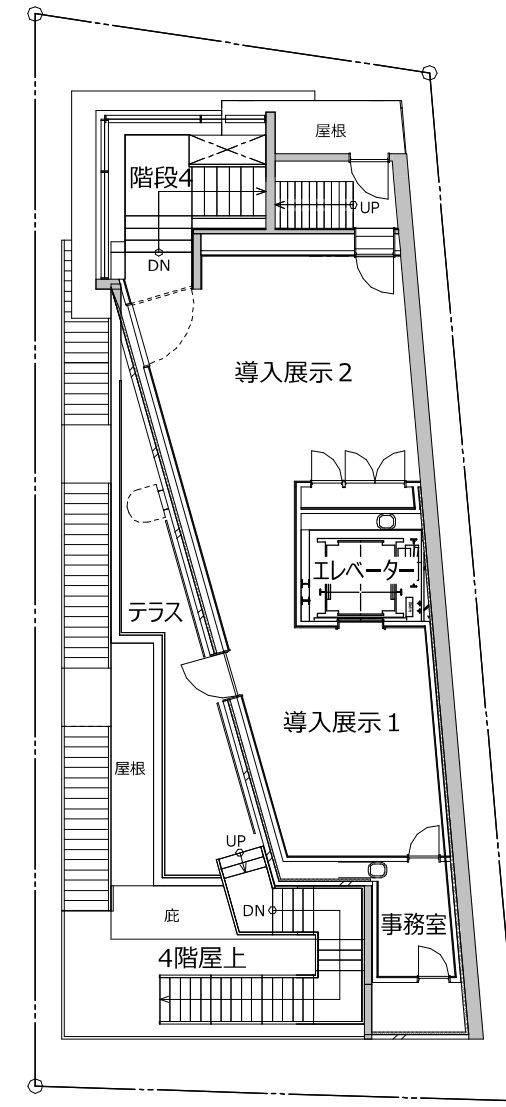
諸室等	面積 (㎡)	備考
展示	308.92	
事務室	21.09	
管理諸室	33.09	倉庫・更衣室等
共用部分	177.50	トイレ・エレベーター・階段等
延床面積	540.60	



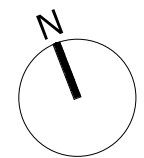
3階平面図

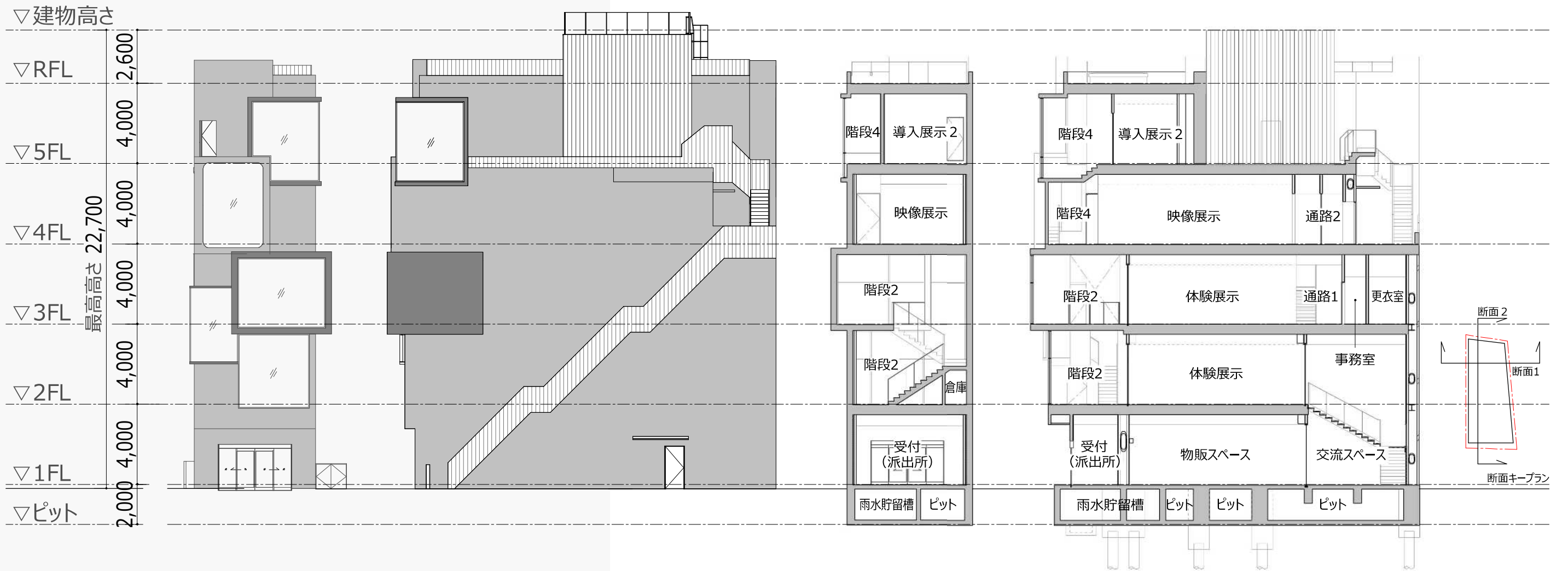


4階平面図



5階平面図





北側立面図

西側立面図

断面図1

断面図2

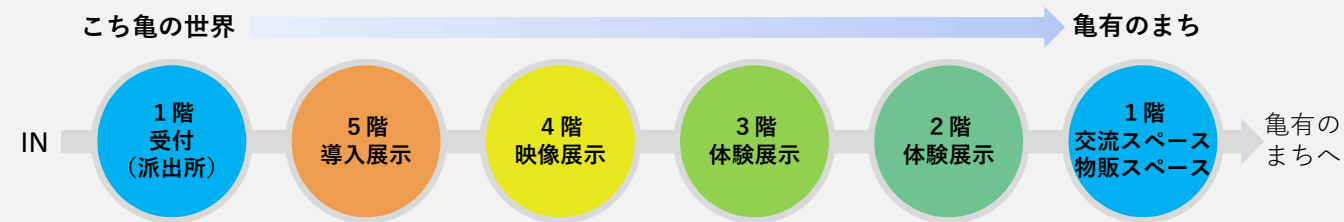


外観パース

<展示の基本的な考え方>

施設全体を一つのストーリーで繋ぎ、こち亀の施設から亀有のまちへと誘う

「こち亀」の世界観を表現しながら、「亀有のまち」とシンクロしていく展示構成とすることで、来館者が施設にとどまらず、亀有のまちに繰り出したくなる展開とします。



<ストーリー>

逃げる両津を大捜査！！

～派出所から始まる両さんの追跡ストーリー～

派出所の上に自分の記念館をつくってしまった両さん。

それに気づいた大原部長は激怒。

来館者は、大原部長からの依頼により、逃げ出した両さんを追いかけて館内を巡ります。

<展示の特色>

○こち亀の「遊び心」を取り入れた体験性

ゲーム性のある展示や、五感で楽しむ展示を展開します。

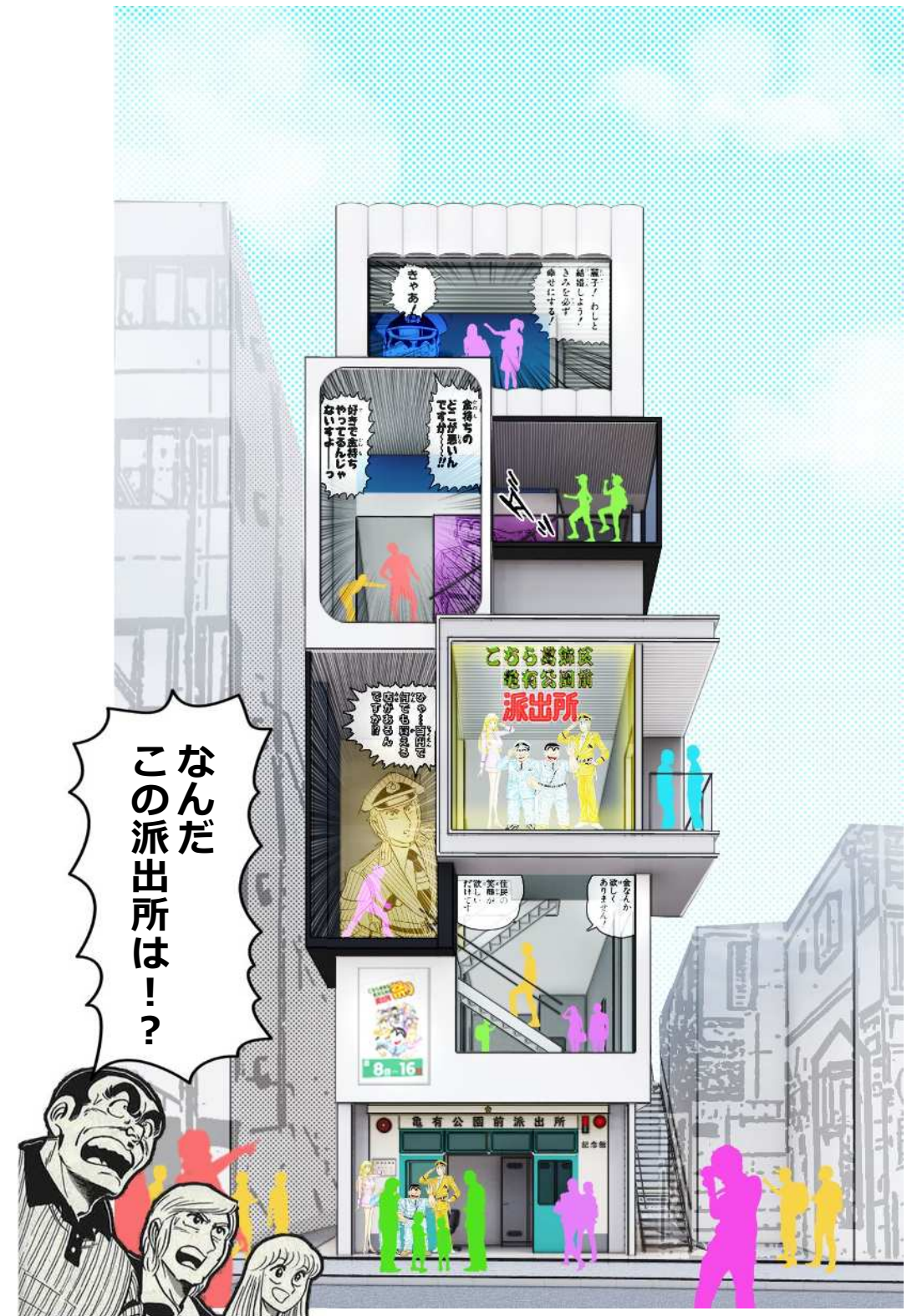
○何度でも来たいと思える、常に新鮮な体験を提供できる更新性

デジタルコンテンツなど、更新しやすい手法を活用します。

○誰もが楽しめる展示環境

こち亀の世界観を大切にしつつ、ユニバーサルデザインや多言語対応に配慮します。

<ファサード>



こち亀のマンガ世界への入り口

1階部分はこち亀に登場する見慣れた派出所ですが、上層階に目を移すと、建築外観(ファサード)がマンガのコマ割りの様になっていて、道行く人びとをこち亀のマンガ世界へと誘います。

<各階ゾーニング図>

1F



2F



3F



4F



5F



1階(受付・エントランス)



5階



受付(派出所)



エントランスは、こち亀の舞台になっている「派出所」を再現するとともに、季節に応じた外観装飾や、テーマごとのキャラの切り出し人形を展開します。

導入展示1



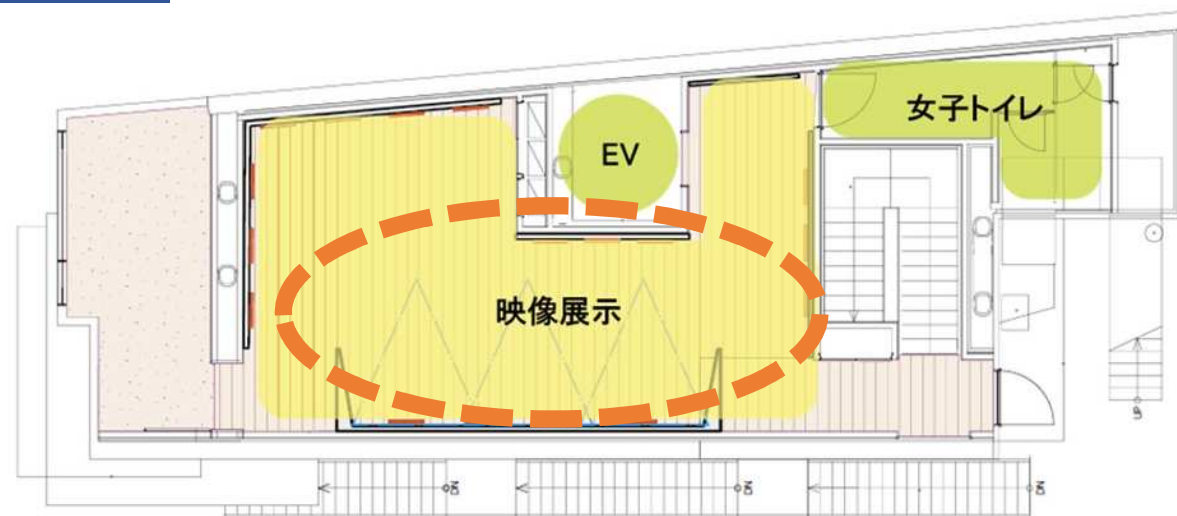
両さんやこち亀が生まれるきっかけとなったアイテムがずらりと並びます。

導入展示2



こち亀の世界を感じられる導入展示として、作品に登場する両津大明神社を再現します。

4階



3階



映像展示



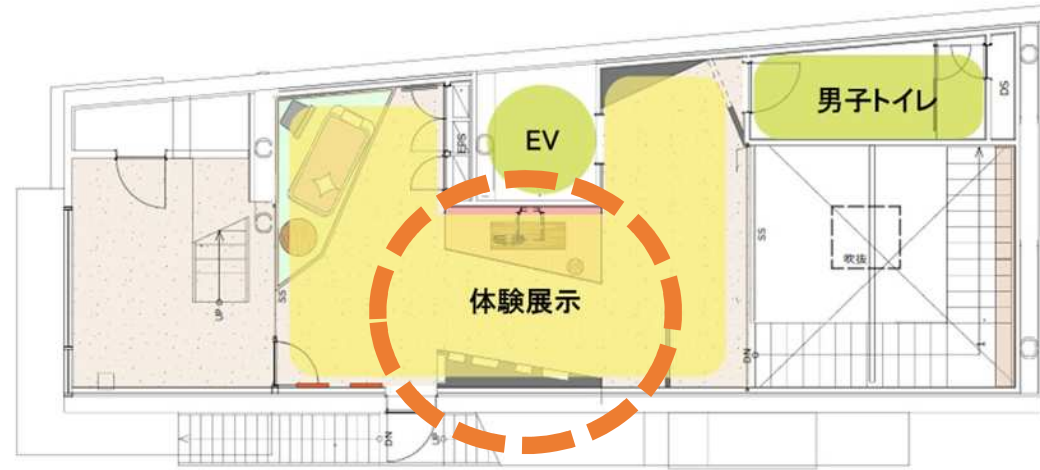
こち亀の原画(二次元)を展示するだけでなく、映像を組み合わせた次元を超えた動きのある展示空間とします。

体験展示

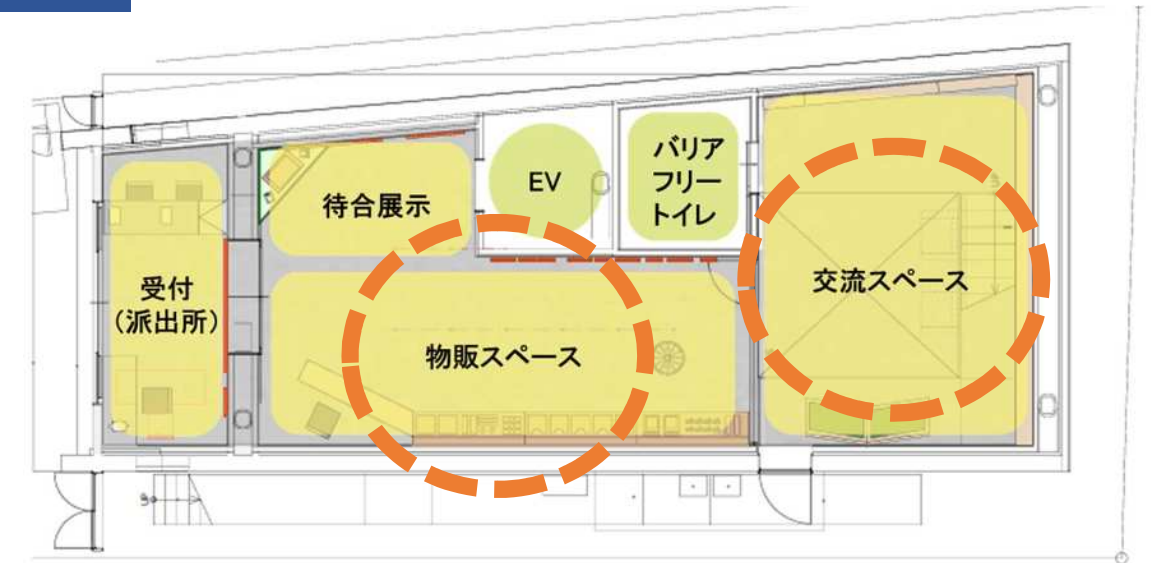


こち亀の名場面を再現します。ゲーム性のある展示やデジタルコンテンツの活用など、様々な体験展示を展開します。

2階



1階



体験展示



1フロア使用する大きな体験展示です。
物が動く、においがするなどの様々な仕掛けにより、五感で楽しみながら、両さんの気配を感じられる展示を展開します。

交流スペース



亀有のまちの魅力を発信して、まちを巡る起点となる場です。
イベント情報の発信や亀有自慢の品の展示などを展開します。

物販スペース



こち亀グッズの販売スペースです。地域産業とのコラボなど、詳細は
今後検討します。